

GIGAスクールの取組状況について

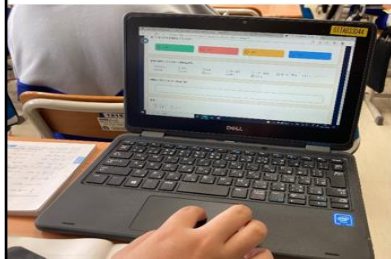
十日町市教育委員会事務局
教育文化部 学校教育課

1 令和 4 年度の ICT を活用した学び

当市では、「十日町市 ICT を活用した学びの推進」計画とその構想（R3~R6）を定め、子どもたちが 1 人 1 台タブレットを「自ら文房具のように」使って、「分かった、できた、楽しい」と目を輝かせて学ぶ姿を目指している（下図）。

十日町市 ICTを活用した学びの推進

① 子どもが自ら文房具のように使う
授業や教育活動において、ノートや鉛筆のようにさりげなく使えるように、子どもの活用を広げていく。





朝の体温チェックをする子ども 身近な掛け算を探し、比べる子ども 授業支援ソフト「ロイロノート」で資料整理する子ども

② 子どもの活用する力をつける「質の高い授業」
ICT活用という視点で、授業を工夫・改善することで、子どもの主体的・対話的で深い学びを目指す。授業で学ぶ中で、「情報活用能力、論理的に考える力、トラブルを防ぐ力」を育てていく。

これまでの授業実践 × ICT = 主体的・対話的で深い学びの実現

令和 4 年度は、「すぐに どの教科でも 誰でも活かせる活用」を目指し、**デジタル教科書（指導者用と学習者用）と授業支援ソフト「ロイロノート」**を活用の両輪に推進してきた。



2 授業での取り組み

(1) デジタル教科書を活用した分かりやすい授業

デジタル教科書には、指導者用と学習者用の2種類がある。

デジタル教科書で、課題や図を提示すると分かりやすく、効果的な授業活用を推進できた。

- ・指導者用デジタル教科書…先生方が、大型提示装置で一斉に提示する。

①令和3年度末に市で整備、**小中学校 国語、算数・数学**

②教師用指導書付属デジタル教科書がある一部教科をまとめ、
使いやすく整備

- ・学習者用デジタル教科書…児童生徒が個々にタブレットで見る。(紙の教科書とほぼ同じ)

※国事業で **R4 は小中学校 英語、国語、道徳**

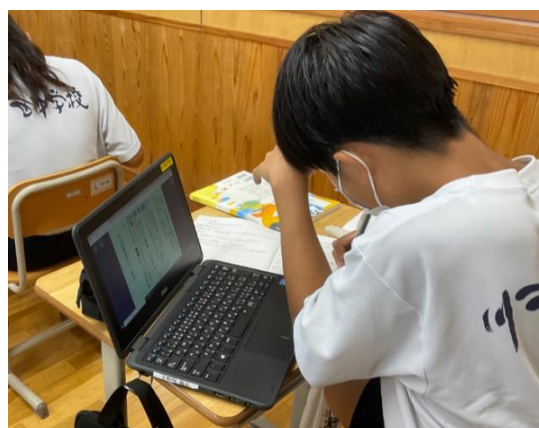
R5 は小中学校 英語＋一部算数・数学、社会

- ・読みの特別な支援に対応した学習者用デジタル教科書

…無料、市で申請し令和4年7月から活用



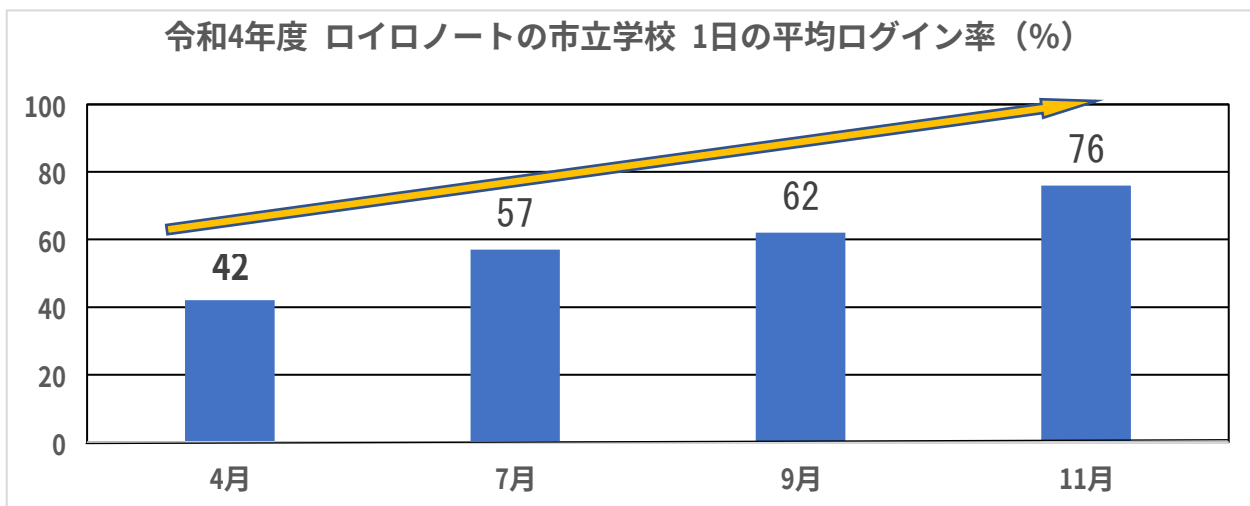
指導者用デジタル教科書



個別学習で有効な学習者用デジタル教科書

(2) 授業支援ソフト「ロイロノート」での双方向授業

ロイロノートは、子どもが、自分の考えを書く、まとめる、提出、仲間と共有するなど、様々なことができる授業支援ソフトである。使いやすく、各学校で学びを深める活用が進んでいる。1日のログイン率も分かるので、情報担当者会議で共有して各校の支援に生かし、全学校で活用を進めることができた。





カードをつないでプレゼン作成



紹介したい人をカードにまとめ、英語で話す生徒



⑦シンキングツール 考えの共有

執行部や委員会活動の紹介で



3 オンライン活用の取り組み

コロナ禍で学びを止めないために Zoom 等で児童生徒とつながるオンライン活用のため、次のタブレット持ち帰り方針を定め、取り組んでいる。

<市のタブレット持ち帰り方針>

- ・臨時休業や、止むを得ず登校できない児童生徒には、学びを止めないため原則持ち帰り。
- ・長期休業（夏休み、冬休み）は、全市一斉持ち帰り。
- ・平日の持ち帰りは、学校判断。※現在、中条中、川西中で平日の持ち帰りを実施。

（1）臨時休業の小学校で「ロイロノートで健康観察とオンライン学習を実施」 1/21～

- ・ロイロノートで健康観察とオンライン学習を実施し、そのノウハウを市内に広めた。



校内職員でオンラインの実施方法を共有

対象日	時間	名前	出欠	体温	理由
01/21	09:16		●出席	36.5℃	そのほか、げんき！
01/21	09:15		●出席	36.5℃	そのほか、げんき！
01/21	09:12		●出席	36.7℃	げんき！
01/21	09:11		●欠席	38.5℃	そのほか
01/21	09:09		●出席	36.7℃	げんき！
01/21	09:07		●出席	36.7℃	げんき！
01/21	09:06		●出席	36.1℃	げんき！

子どもたちの実際の健康観察画面

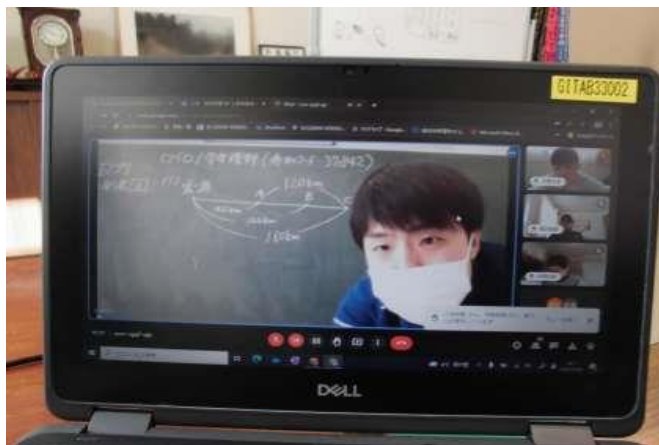
(2) 中学校の「学級閉鎖や、登校できない生徒にオンラインで学びの保証を」 1月～2月

Zoom 授業を行いました 学校 HP より

学級閉鎖になっているクラスで、一人一端末タブレットを家に持ち帰り、Zoom を用いた双方向の英語の授業を行いました。教師が説明し、生徒が反応で返したり、チャットで文字を書き込んで反応したりしていました。



臨時休業で授業をする様子



数学の授業の様子

4 市内全校で取組の普及・促進

効果的な ICT 活用に向け、以下の視点から普及・促進を図っている。

- ・ 情報担当者会議（年 6 回）で、市内の情報担当者に取り組を共有する。
- ・ 情報担当者が中核となり、校内研修を実施し、ICT を活用する校内の風土をつくる。
- ・ 連絡掲示板等で、情報や授業動画等を紹介し、活用を啓発する。



各種発表会をオンラインで発信



デジタル教科書のよい活用方法を共有

5 今後の ICT 活用に向けて

- ・ ICT 活用の日常化、平時の持ち帰りの推進
- ・ 校務の効率化とデジタル化の推進